

10/28 (土)「コイズミ物流との課題解決プロジェクト」  
最終発表を実施 --大学生目線で提案--

流通科学大学（神戸市西区／学長：藤井啓吾）田中康仁教授と李志明准教授のゼミは、10月28日（土）、「コイズミ物流との課題解決プロジェクト」の最終発表を実施します。両ゼミから8チーム（26名）が参加。各チームが選んだテーマに対し、これまでの調査をもとに提案を行います。

■「コイズミ物流との課題解決プロジェクト」最終発表 概要

- 【日時】 10月28日（土）13：00～17：00  
【場所】 コイズミ物流株式会社（大阪市中央区備後町3-3-7）  
【テーマ】 『新規事業創出』『荷役作業の効率化』『倉庫スペースの有効活用』  
『物流業界の労働力不足改善策』『倉庫内における労働環境の改善』  
【発表団体】 流通科学大学 3年 田中ゼミ4チーム、李ゼミ4チーム（合計26名）  
【審査員】 コイズミ物流株式会社 常務取締役 経営管理本部長 赤松氏  
経営管理本部 新規事業開発室 室長 兵庫氏 他

さまざまな企業、地域・自治体と社会共創プログラムに取り組んでいる本学のゼミ活動。商学部マーケティング学科・田中康仁教授と李志明准教授のゼミは、コイズミ物流株式会社との連携企画を2022年度よりスタートし、2年目。今年度の参加メンバーは昨年より変わり、4月に説明会を開催。5月に第1回目フィールドワーク、7月に中間発表を行い、9月に第2回目のフィールドワークを実施。そして、10月28日（土）に最終発表に臨みます。

【これまでの取り組み】

■4月20日、21日 説明会

流通科学大学で開催。コイズミ物流株式会社より、営業本部 新規事業推進室 室長・兵庫氏と営業本部 海外営業室 室長・東氏が本学を訪れ、活動の趣旨やスケジュールについて説明。その後、ゼミ生の自己紹介と質疑応答を行いました。今年度のテーマは、『新規事業創出』『荷役作業の効率化』『倉庫スペースの有効活用』『物流業界の労働力不足改善策』『倉庫内における労働環境の改善』の5つ。

■5月27日 第1回目フィールドワーク

コイズミ物流大阪営業所で実施。大阪・南港に置く2拠点のひとつで、照明関連商材を中心に、在庫管理や輸配送管理を行っています（もうひとつは、家電カテゴリーの拠点）。約5,800坪（サッカー場で3.5面相当）の広大な倉庫スペースを社員の方の説明を受けながら見学しました。大半の学生が物流センターを見学するのは初めての経験であり、労働環境にネガティブな印象を持っている学生もいたようですが、そのイメージは見事に覆されました。整理が行き届いた物流センターでは、ほぼ一人1台のフォークリフトにより肉体的負担も軽減されていました。



